

## 令和7年度当初予算案における主要な施策

部 局 名
下水道局

# 新規事業及び重要事業総括表

## I 総額

### 【流域下水道事業会計】

区分	令和7年度	令和6年度	伸び率
予算総額	91,064,203千円	87,904,800千円	3.6%

### 1 【収益的支出】

区分	令和7年度	令和6年度	伸び率
予算総額	58,722,896千円	56,831,364千円	3.3%

### 2 【資本的支出】

区分	令和7年度	令和6年度	伸び率
予算総額	32,341,307千円	31,073,436千円	4.1%

# 新規事業及び重要事業総括表

(単位 千円)

## II 主な新規事業及び重要施策

### 1 下水道施設の保全と災害対策の強化

P 4	下水道施設の老朽化対策の推進	【下水道事業課】	13,032,552
P 5	下水道施設の災害対策の推進	【下水道事業課】	5,817,605

### 2 新たな事業環境への対応

P 6	一部新規	地球温暖化対策と資源循環の推進	【下水道事業課】	4,631,391 (再掲含む)
-----	------	-----------------	----------	------------------

### 3 経営基盤の強化

P 7		下水道事業の広域的な連携及びDXの推進	【下水道事業課】	253,009
P 8		下水道分野における国際的技術協力・広報の推進	【下水道事業課】	24,634
			【下水道管理課】	4,463

担当 下水道事業課 建設担当  
内線 5456

### 目的

下水道施設供用開始後50年以上が経過し、施設の老朽化対策が課題となっている。重大事故を防止するため、埼玉県下水道局ストックマネジメント計画に基づき、下水道施設の計画的な改築を行う。

### 事業概要

#### 1 下水道施設の老朽化対策の推進 13,032,552千円

##### (1) 下水道施設の改築 13,032,552千円

施設の適切な維持管理による長寿命化を図りつつ、下水処理機能への影響度や不具合発生確率によるリスク評価により、優先度の高いものから計画的に改築を行い、安定的・継続的に施設の処理機能を確保する。

〔令和7年度の主な事業〕

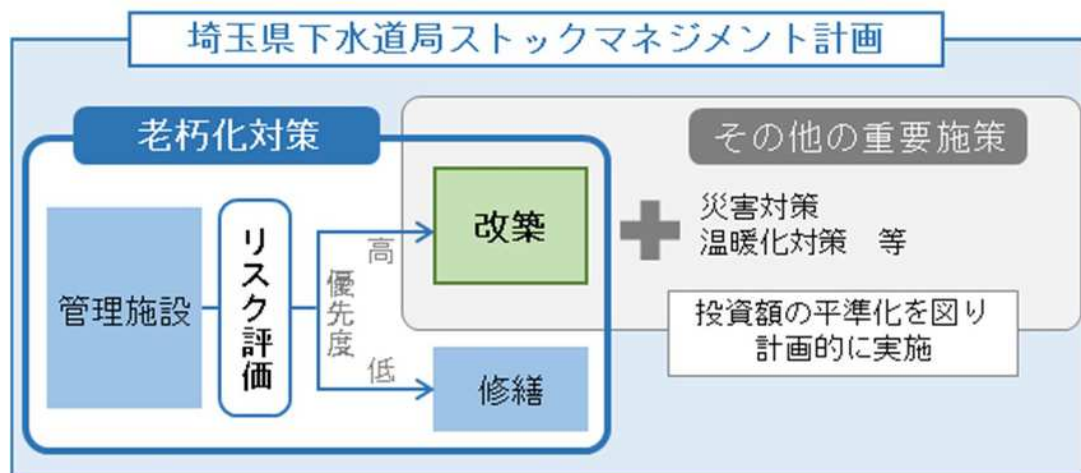
- ・送風機機械設備の改築 : 新河岸川上流水循環センター（川越市）
- ・汚泥搬送機械設備の改築 : 古利根川水循環センター（久喜市）



新河岸川上流水循環センター  
送風機機械設備



古利根川水循環センター  
汚泥搬送機械設備



担当 下水道事業課 建設担当  
内線 5456

目的

大規模地震や台風などの影響による災害発生時においても、ライフラインとしての機能を確保し、下水道サービスを提供できるよう、各計画（埼玉県流域下水道総合地震対策計画、耐水化計画）に基づき、流域下水道施設の災害対策を推進する。

事業概要

2 下水道施設の災害対策の推進 5,817,605千円

(1) 下水道施設の耐震化 5,593,605千円

震災時においても下水を街に溢れさせないよう汚水を処理場まで「送る」機能と処理場において汚水を「処理」する機能を確保するため、下水道施設の耐震化を推進する。

〔令和7年度の主な事業〕

- ・マンホール浮上防止対策工事 : 元荒川幹線（桶川市）
- ・管渠耐震診断 : 中川幹線（吉川市）
- ・処理場の水処理施設等耐震化工事 : 新河岸川水循環センター（和光市）
- ・沈砂池ポンプ棟再構築仮設土留掘削工事 : 荒川水循環センター（戸田市）

(2) 下水道施設の耐水化 224,000千円

水害時においても一定の下水道機能を確保し、社会的影響を最小限に抑制するため、中高頻度の確率で発生する河川氾濫に対して、防水壁や防水扉等の下水道施設の耐水化を推進する。

〔令和7年度の主な事業〕

- ・耐水化工事 : 春日部中継ポンプ場（春日部市）  
新河岸川水循環センター（和光市）

**耐震化の例**

マンホール浮上防止対策  
過剰間隙水圧の消散 重量増

地下水位  
マンホール  
ドレーン管  
重量ブロック

浮上の原因となる過剰間隙水圧をドレーン管によりマンホール内に排水する対策  
浮上の原因となる浮力に対しマンホール内に重りを設置し、自重で抵抗する対策

処理場の水処理施設等耐震化

せん断補強  
せん断補強鉄筋

未補強 補強後

曲げ補強

未補強 補強後

止水板

参考図

一部新規

担当 下水道事業課 管理運営担当、建設担当  
内線 5464、5447

## 目的

温室効果ガスの排出を抑制した新型焼却炉の導入や省・創エネルギーの導入により地球温暖化対策を推進するとともに下水道資源を有効活用することにより資源循環を推進し、持続可能な社会の構築に貢献する。

## 事業概要

### 1 地球温暖化対策と資源循環の推進 4,631,391千円

#### (1) 地球温暖化対策の推進 (一部新規) 4,494,420千円

より高温焼却が可能な発電機能付き新型焼却炉への改築や消化プロセスの導入などによる温室効果ガスの排出削減対策を実施するとともに再生可能エネルギーの利用拡大を検討する。

〔実施内容〕

- ・ PPAなどによる再生可能エネルギー利用の検討 **【新規】** : 古利根川、荒川上流など
- ・ 新型焼却炉への改築 : 元荒川、新河岸川
- ・ 省エネ機種（超微細散気装置）の導入 : 元荒川、中川
- ・ 消化プロセスの導入 : 新河岸川、中川
- ・ 下水汚泥由来繊維利活用システムの導入 : 元荒川、中川

#### (2) 資源循環の推進 136,971千円 (一部再掲)

本県が全国に先駆けて肥料登録した焼却灰肥料である荒川クマムシくん1号を原料として使用した混合肥料について、県内での利用促進を図るため栽培試験などを実施する。また、下水汚泥の堆肥化事業を引き続き検討するとともに、堆肥利用への理解醸成を図る。

下水汚泥を消化することで発生するバイオガスのエネルギー利用を検討する。

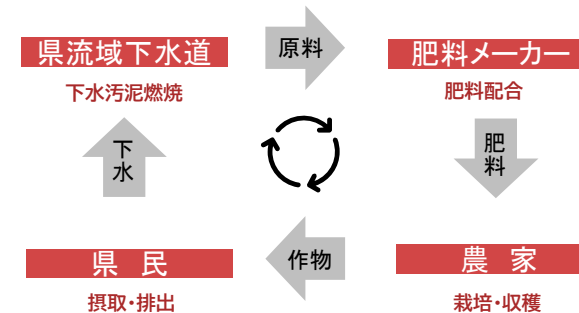
〔実施内容〕

- ・ 焼却灰肥料による栽培試験などの実施 : 荒川
- ・ 堆肥試作と堆肥事業の詳細検討 : 荒川上流、市野川、小山川
- ・ バイオガスのエネルギー利用検討（再掲） : 新河岸川、中川

新型焼却炉の導入



焼却灰肥料の利用



担当 下水道事業課 計画・公共下水道担当、管理運営担当、建設担当  
 内線 5466、5464、5456

目的

下水道事業の広域化・共同化を進め、市町村の公共下水道事業の安定的・継続的な経営の支援を行うとともに、下水道施設管理に関するDXを推進し、さらなる効率化による流域下水道事業の経営基盤の強化を図る。

事業概要

1 下水道事業の広域的な連携及びDXの推進 253,009千円

(1) 下水汚泥の共同処理 32,761千円

単独公共下水道から発生する脱水汚泥を、流域下水道の水循環センターで処理する。



(2) 共同災害訓練等の実施 20,018千円

局地的な災害だけではなく広域的な災害に対しても下水道機能の早期復旧が図れるよう、県内市町・組合や協定締結団体等との実動訓練やBCP図上訓練をはじめ、下水道公社及び包括的民間委託事業者と共同災害訓練を実施し、広域的な災害対応力の向上を図る。BCP図上訓練において企業局との連携も検討していく。



協定締結団体との共同訓練



BCP図上訓練

(3) 技術支援等の実施 4,873千円

下水道公社が培った維持管理に係るノウハウを活かし、県内市町・組合の下水道事業に関するニーズに沿ったきめ細やかな技術支援等に取り組む。

(4) 下水道のDX推進 195,357千円

効率化による流域下水道事業の経営基盤の強化を図るため流量計データの遠隔監視化、管路情報システム等による情報の共有化及び処理場・ポンプ場施設の3次元モデルの活用(BIM/CIM)を行う。



3次元モデル化(イメージ)

担当 下水道事業課 管理運営担当 内線 5455  
 下水道管理課 企画・調整担当 内線 5446

目的

国際的な水問題解決への技術協力や、県内企業の海外でのビジネスチャンス創出への支援を行う。また、流域下水道事業の安定的・持続的な経営に資するため、下水道の役割や経営状況などの広報を適時、積極的に実施し、県民の理解の促進に努める。

事業概要

2 下水道分野における国際的技術協力・広報の推進 29,097千円

(1) タイ王国レムチャバン市への技術協力（JICA草の根技術協力事業） 24,634千円

レムチャバン港を抱えた重要都市、レムチャバン市において、機能不全に陥っている下水道インフラの施設修繕を行うとともに、ストックマネジメント計画の作成支援や維持管理についての研修等を実施する。また、県内企業の現地での企業活動につながるよう、企業との協働による支援を行う。



(2) 下水道広報の取組 4,463千円

県民に広く下水道に対する興味、関心を持っていただき、一層の理解を深めていただくため、下水道の日（9月10日）に因んだ作品コンクールやラジオスポットCM、さらには各種イベントへの広報出展等を展開する。

- ①作品コンクール、表彰式
- ②イベントへの広報出展

